

# 平成30年度 学校評価

秋田県理容美容専門学校

## 1. 学校の教育目的

美容技術を教授・指導し、専門的知識と技能を修得させ、美容師を養成する。

## 2. 学校の教育目標

- ・職業人として必要な学力・技術を身につけさせる。  
特に国家試験合格のための学力・技術の修得を目指す。
- ・社会人として必要な礼儀を弁えた人間を育てる。  
特に挨拶・言葉遣い、他人に対する心遣いを養う。

## 3. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・生徒の自主性・社会性を育てる。
- ・生徒の問題に対する生徒自身・保護者の意識の低下への対応
- ・国家資格取得の重要性を意識させる。
- ・本校の活動を地域に周知する。

## 4. 評価項目の達成及び取組状況

### (1) . 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・A 学校の教育目標・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
・B 学校の教育目標・目的・育成人材像・特色・将来構想などが 学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1
・C 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界の ニーズに向けて方向づけられているか	4	③	2	1

### (取組状況・成果・課題)

- A 学校として、明確に定めている。(前述1・2のとおり。)
- B 学校行事や説明会、入学後のオリエンテーション等で、本校の方向性について説明している。  
保護者においては、入学式にて必ず周知を図っている。
- C 業界の求める育成人材像に近づけるために、ガイダンス等を通して、業界の先生等と意見  
交換・情報交換をし、業界のニーズとの接点をもっと増やしたい。

### (改善策)

- C ガイダンス等を通して、業界の先生等と意見交換・情報交換をし、業界のニーズとの接点を  
どのように増やすか模索したい。

(2) . 学校運営

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ A 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	③	2	1
・ B 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	③	2	1
・ C 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	③	2	1
・ D 人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
・ E 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
・ F 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

(取組状況・成果・課題)

- A・B 本評価冒頭の目的、目標を軸とし、学校の方針、計画等、教職員間で連絡を密に交わしながら、協議を重ねている。
- C 校務分掌を毎年確認し、確実に実行できるよう明確化に努めている。限られた教職員数でいかに効率よく機能しているかを分析することが課題である。
- D・E 問題なし
- F 情報システム化による業務の効率化は年々効率的になっている。

(改善策)

- C 校務分掌が効率よく機能しているかを分析するためには、機能している状況を把握することが必要であることから、教職員から教頭への校務分掌に関する報告・連絡・相談を密にする必要がある。状況を把握したうえで、分析し、効率を改善する必要がある場合は改善していきたい。

(3) . 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・A 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・B 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・C 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・D 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
・E 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・F 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
・G 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
・H 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

(取組状況・成果・課題)

- A・B 教育目標や学校規定に定められている修業年限、教育到達レベル、学習時間の確保においては明確に定められている。万全の体制である。
- C 各教科の指導計画案に添って策定がなされている。
- D 毎年1週間の期間を設け、市内数社に依頼し、2年生のインターンシップ・サロン実習を実施し、評価を得ている。
- E 学則・内規等で明確に定められている。
- F 特に色彩検定、JNEC ネイリスト技能検定試験、JNA ジェルネイル技能検定試験、エステティックディプロマ、メイクアップディプロマに対して単位授業としてカリキュラムを組んでいる。
- G 業界の経験年数、勤続年数を十分に積んでいる教員数の確保ができています。(常勤・非常勤共に)
- H 校外で行われる研修に参加する機会がある毎に研修参加はしているが、十分とはいえない。

(改善策)

- H 校外の研修だと、遠方での研修が多く、頻繁に参加することができないので、校内の研修に力を入れたい。実技に関しては、毎年4月・10月に校内研修を行っている。その他のことに関しての研修の機会がほとんどないので、校外で受講した研修の報告会を行うなど、全教職員の能力開発に努めたい。

(4) . 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・A 就職率の向上が図られているか	4	③	2	1
・B 資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
・C 退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
・D 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1

(取組状況・成果・課題)

- A 毎年2年生の4～5月に集中的にガイダンスを行っている。今まで、就職希望者においては、100%となっていたが、今年度において未就職者が1名出てしまった。
- B 国家試験、他資格において平均9割の取得となっている。今年度は、筆記試験は100%合格となったが、実技試験において不合格者が出てしまった。100%達成へ向けて指導の改善を図りたい。
- C 年々退学率は低減している。今年度は1学年での退学者が2名出てしまった。理由は進路変更や目的意識の喪失が主な原因となっているが、長期欠席により、他学生との実力の差が出てしまい、それによりやる気を失ってしまうのも1つの要因となっている。
- D 就職先より卒業生の情報を得られている。ガイダンス等を通じ、就職先との交流もなされている。

(改善策)

- A 就職に向けて意識を持たせるよう指導していきたい。
- B 教員に自主研修をさせ、教員の指導力の底上げを図りたい。生徒の指導も全教員が公平性をもって指導できるよう意識を改善させたい。
- C 目的意識の喪失、やる気を失うということのないよう生徒を導けるよう努力したい。

(5) . 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・A 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・B 学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・C 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
・D 保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1

(取組状況・成果・課題)

- A・B 担任制をとっているため、個人面接、教頭を交えた三者面談等で対応している。  
就職支援に関しては、2年生の4月～5月に企業と連絡を取り合い、校内でのガイダンスを行っている。特に県外希望の生徒に関しては、企業の話を持直接取得できるので、交通費などの無駄がなく、就職活動を行うことができる。
- C 週1回、カリキュラムとして体育の授業を通して、健康増進を図っている。他、年1回の健康診断を行っている。
- D 主に担任と保護者との連携は常になされている。特に、欠席、遅刻者に対しては、保護者への連絡を密にしている。

(改善策)

- D 担任と保護者との連携を密にすることによって、担任と保護者の両方で生徒のことを把握できるため、問題解決しやすくなっている。次年度も継続していきたい。

(6) . 教育環境

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・A 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
・B 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
・C 防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

(取組状況・成果・課題)

- A 美容師養成施設指定規則に則った施設・設備となっている。
- B 学校閉鎖期間や学校行事の日以外、生徒が自主練習できるよう放課後・土曜日・長期休暇等学校を開放している。インターンシップに関しては、県内の企業の協力を得て、ここ数年、2年生が5日間のサロン実習を行っている。就職へ向けての大きな自信につながっているようだ。海外研修に関しては、10 数年前よりヨーロッパのカット研修を主として行ってきた。学生にとって、有意義な研修となっている。
- C 建築構造は万全を期している。毎年、同法人の高校と一緒に大規模な避難訓練も行っている。

(改善策)

- B 生徒にとって自信となったり、有意義な経験となったりするよう検討を重ねながら、次年度も引き続き、様々な経験ができるような機会を提供していきたい。

(7) . 学生の受入れ募集

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・A 学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
・B 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・C 学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

(取組状況・成果・課題)

- A 学校の HP、パンフレット等を通し、適正な広報となっている。県内の高校を訪問し、高校の先生から頂いた意見も参考にしながら、募集活動に活かしている。学校で決定した媒体を通して、高校生に直接説明ができているのは大きな成果となっている。
- B 成果の伝達については、ガイダンスや体験入学等を通して、教員・生徒が忌憚のない意見を述べている。
- C 入学金・教育充実費・授業料・教材費等近隣県の他校と照らし合わせても妥当な水準となっている。

(改善策)

- B 得られた意見を募集活動がさらに良くなるよう、もっと活用していきたい。

(8) . 財務

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ A 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
・ B 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・ C 財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・ D 財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

(取組状況・成果・課題)

A・B・C・D 特に問題なし。

(改善策)

毎年、財務に関して問題はない。継続していきたい。

(9) . 法令等の遵守

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ A 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
・ B 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・ C 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1
・ D 自己評価結果を公開しているか	4	③	2	1

(取組状況・成果・課題)

- A 法令・専修学校設置基準・養成施設指定規則等の順守と適正な運営に努めている。
- B いかなるデータも学校外への持ち出しは禁止している。また、外部への漏洩はもちろんコンピューターのウイルス感染等にも細心の注意を払っている。
- C 毎年、自己評価を行い、職員との共通認識の元、改善点を検討し、対応を図っている。すぐに解決しない問題は少しずつ対策を施している。
- D 自己評価結果の公開については、学内にとどまっている。

(改善策)

- C 前述のとおり、対応・対策を継続していきたい。
- D ホームページなどを通じて広く公開できるように対策を施していきたい。

(10) . 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・A 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
・B 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の 受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1

- A 各方面より依頼のある社会的活動に対してはできる限りの対応をし、支援している。
- B 公共職業訓練に関しては、5・6年前から実施している。約70人の受講者を受け入れている実績がある。31年度より2年コースの委託訓練も実施することとしている。

(改善策)

- B 公共職業訓練の方々の就職は、訓練内容の専門性から難しいことが多いが、今年度は就職率が非常に良かったので、次年度も訓練の方々が就職できるようサポートしていきたい。